



広陵町長

平岡 仁



町民の皆様にとりまして

飛躍の年でありますように

新年あけましておめでとうございませう。平成24年の希望に輝く新春を皆様とともに迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

昨年は3月に東日本を襲った大地震と津波、原子力発電所の事故、9月には台風12号・15号の大雨による未曾有の大災害が起きました。被災地ではまだ津波や大雨の爪痕がいたる所で残っており、亡くなられた方々には哀悼の意を表するとともに、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

広陵町ではこれらの災害発生と同時に、岩手県の陸前高田市や奈良県の十津川村へ給水支援のため職員と給水車を派遣しました。被災地では救援活動を行うとともに、皆様からお届けいただいた救援物資や義援金を届けてまいりました。

また10月中旬と11月上旬には町内でボランティアを募集し、宮城県の名取市と岩沼市の津波の被害を受けた農地の瓦礫と塩害除去に50名の復興支援隊を派遣し、被災地の復興支援に活動いただきました。



町では、今日まで遊休農地を利用した農業や化学肥料を使わないオーガニックコットンづくりに取り組んでいます。東日本大震災の被災地では、津波による塩害で米作りができなため、除塩効果の高い綿を作って試験的に土壌回復を図っています。広陵町で根付いた綿作りが、今回の津波で甚大な被害に遭われた被災地の農地で見守られているのです。被災後の昨年11月には初収穫を迎えることができ、少なくとも3年間綿作りを行えば元の農地に蘇るのです。12月には作付けいただいている仙台営農センターの関係者が来町され、今後に向けて協議をしています。

町では、近い将来高い確率で起こると言われている大地震に備えて災害に強いまちづくりのために「防災組織をつくる」、「地域をつくる」、「人をつくる」ことに力を注いでまいりました。今年度も引き続き防災力の強化を図ってまいります。

私は就任以来「人にやさしい人がやさしい元氣なまちづくり」を進めています。一昨年にオープンしたパークゴルフコースは子どもから高齢者まで気軽に楽しむことができます。健康づくりのため、さらに多くのかたがたのご利用をお待ちしています。

中学校給食につきましては、給食懇話会を立ち上げて検討いただき、また食生活全般から様々な意見をいただき集約したいと存じます。

今年度におきましては、広陵町の将来計画として、老朽化する中央公民館の改築計画、役場庁舎や西小学校の改築、幼稚園・保育園の整備、市街化区域内の整備計画、橋梁の長寿命化など重要施策が山積しており、町民の皆様のご意見を聞きながら検討してまいります。

結びに、前年に引き続き躍動感ある行政を進めてまいりますので、皆様方のさらなるご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。本年も町民の皆様におかれましては幸多き飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

